

報道発表

令和元年12月20日
名古屋税関
豊橋税関支署

令和元年11月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和元年11月分について、輸出は「その他の化学製品」などが増加したものの、「自動車」、「鉄道用車両」などが減少したことから対前年同月比10.4%の減少となった。また、輸入は「粗鉱物」などが増加したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが減少したことから、同10.1%の減少となった。

その結果、差引額は1,090億円（同10.7%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,864億円	▲10.4%	774億円	▲10.1%	1,090億円	▲10.7%
	5カ月連続の減少		2カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) その他の化学製品	18億円	+31.6%	輸入	増加品目	(1) 粗鉱物	4億円	+711.6%
		(2) 金属鉱及びくず	7億円	+19.1%			(2) とうもろこし	3億円	全増
		(3) 自動車の部分品	3億円	+11.4%			(3) 魚介類及び同調製品	4億円	+88.2%
	減少品目	(1) 自動車	1,797億円	▲7.0%		減少品目	(1) 自動車	684億円	▲9.8%
		(2) 鉄道用車両	—	全減			(2) 鉄鋼	29億円	▲18.4%
		(3) 船舶類	3億円	▲86.6%			(3) 果実	20億円	▲15.5%
	地域別動向					地域別動向		西欧、アフリカが減少、北米は増加	

（参考）ドルレートは、108.76円（前年同月比3.7%、4.23円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。